

# 農業会議だより

第44号(令和5年7月)発行：一般社団法人佐賀県農業会議

1. 農業会議通常総会・臨時理事会を開催/会長就任のあいさつ
2. 市町農業委員会会長会議を開催
3. 全国農業委員会会長大会/国会議員への要請活動
4. 佐賀県農業委員会職員協議会第60回定期総会・研修会を開催
5. 農業委員会サポートシステム、eMAFF 地図関係について
6. 江北町農業委員会の取り組みについて
7. 農業公社より情報提供（農地中間管理事業に係る法律の改正について）
8. 農業大学校より情報提供（農業大学校オープンキャンパス参加者募集）
9. 令和5年度農業簿記講習会のご案内
10. 農業者年金の加入推進について
11. 全国農業新聞普及推進・全国農業図書紹介
12. 常設審議委員会の結果（5・6月）
13. 行事予定

## 1. 一般社団法人佐賀県農業会議第8回通常総会・臨時理事会を開催

一般社団法人佐賀県農業会議の第8回通常総会を6月15日、佐賀市「グランデはがくれ」において開催し、第1号議案から第3号議案まで全議案が承認されました。また、総会後の臨時理事会で新会長が選定されました。

### 【第8回通常総会】

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び貸借対照表並びに損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について
- 第2号議案 役員等の報酬の額について
- 第3号議案 令和5年度会費の額及び納入時期について

### 【臨時理事会】

- 第1号議案 会長（代表理事）の選定について

役職	氏名	所属
会長（代表理事）	大園敏明	佐賀市農業委員会

## ○会長就任のあいさつ

この度、佐賀県農業会議の会長に就任しました佐賀市農業委員会の大園敏明と申します。会長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、農業委員会、市町、農業団体など会員の皆様には、日頃より農業会議の業務にあたり格別のご理解とご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、農業・農村を取り巻く情勢につきましては、急速に進む人口減少の中、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加、生産資材の高騰など多くの課題を抱えております。

このような中、農業委員会は、農地の集積・集約化といった農地利用の最適化活動はもとより、法定化された地域計画を策定する上でも特に重要な目標地図の作成という役割が与えられており、非常に難しいことに取り組んでいかなければなりません。こうした状況において、農業会議の会長という大役をいただき身の引き締まる思いです。

また、本年7月は12市町の農業委員会で改選が行われることから、改選委員会が引き続き、切れ目のない活動ができるよう、農業会議としても全力で支援してまいります。

さらに、農地の有効利用や担い手の確保・育成を図るため、会員の皆様方と連携し、必要な支援を積極的に行い、本県農業の発展に向けて、しっかりと活動していきたいと考えております。

今後とも微力ながら努力して参りたいと存じますので、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。



〔大園会長〕

---

## 2. 市町農業委員会会長会議を開催

農業会議は6月15日、通常総会終了後に会長及び関係機関26名出席のもと、市町農業委員会会長会議を開催しました。

会議では、地域計画の策定に向けた取組状況について共有し、担い手の確保や効率的な農地利用等について意見交換を行ったほか、委員の最適化活動の記録の徹底や、7月の改選で退任される委員から新しい委員への引継ぎ等について事務局から説明しました。

また、農業委員会サポートシステムとeMAFF地図、タブレット等との関係性について説明した後、タブレットを用いた現地確認調査や意向調査の方法について実演しました。

農業会議では、地域計画の進捗状況や課題の把握のため、関係機関と連携して市町巡回を行うとともに、サポートシステムを利用した目標地図の作成方法を学ぶ研修会を予定しています。

---

### 3. 全国農業委員会会長大会／国会議員への要請活動

- 期 日 令和5年5月30日（火）～31日（水）
- 場 所 東京都 文京シビックホール、国会議員会館
- 参加者 19名

佐賀市（大園会長）、唐津市（山崎会長）、鳥栖市（佐藤会長）、多久市（塚元副会長）、伊万里市（山口会長）、武雄市（佐佐木会長）、鹿島市（織田会長）、小城市（江里口会長）、嬉野市（石橋会長）、神崎市（西村会長）、吉野ヶ里町（中村会長）、上峰町（高島会長）、玄海町（寺田会長）、有田町（藤会長）、江北町（大串会長）、太良町（秀島会長）、白石町（久原事務局長）、農業会議事務局（武藤次長、徳永課長）

#### （1）令和5年度全国農業委員会会長大会

- ・開 会
- ・主催者挨拶 全国農業会議所 会長 國井正幸 氏
- ・来賓挨拶 農林水産大臣 野村哲郎 氏、農林水産委員長 山下雄平 氏
- ・運営委員長報告 長野県農業会議 会長 持月雄内 氏
- ・議 案

#### ① 提案決議

第1号議案「食料安全保障の確立に向けた持続可能な農業・農村を創るための政策提案」

#### ② 申し合わせ決議

第2号議案「地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進するための申し合わせ

第3号議案「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ

#### ③ 実行運動

第4号議案 令和5年度全国農業委員会会長大会実行運動計画

#### 【農業委員会活動の実践を踏まえた決意表明】

- 鹿児島県屋久島町農業委員会 会長 鎌田秀久 氏

テーマ：地域計画（目標地図を含む）の策定に向けた取り組みについて

- 静岡県伊東市農業委員会 農業委員 土屋光枝 氏

テーマ：農業委員会におけるタブレットの活用状況について

#### （2）国会議員への要請活動

全国農業委員会会長大会で決議した政策提案等について県選出国会議員へ要請



↑ 農業委員会会長大会の様子

活動を実施しました。また、農業委員会会長から現場の実情や課題など様々な発言があり、活発な意見交換を行いました。

○主な要請内容

- ・地域計画の策定にあたって必要な人件費等の確保について
- ・担い手の確保対策について
- ・鳥獣被害対策について
- ・太陽光発電施設を撤去する際の適切な対応について

---

#### 4. 農業委員会職員協議会総会・研修会を開催

県農業委員会職員協議会（会長：佐賀市・福岡事務局長）は、5月26日、佐賀市で第60回定期総会を開催しました。以下の全議案について承認され、「全国農業新聞の普及・拡大並びに全国農業図書の普及・拡大」についても決議されました。

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について

第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算案について

第3号議案 令和5年度会費の額及び納入方法について

総会終了後には、農業会議と共催で研修会を開催。地域計画の策定に当たっての「農家への意向把握と目標地図の素案作成」について、雲仙市農業委員会の増富前事務局長会から説明いただきました。

研修会では、雲仙市で平成30年度から実施している農業委員・推進委員による全農家への意向調査の取り組みや令和4年度に地域計画策定のモデル地区となった事例などについて地図を提示しながら事例報告がありました。

参加者からは「目標地図がようやく理解できた。」や「実務をされた方の苦労した本音が聞けてよかった。」などといった声が聞かれました。

職員協議会では、今後も農業委員会業務の円滑な推進を図るため研修会を開催していく予定です。



↑研修会の様子

---

#### 5. 農業委員会サポートシステムとeMAFF地図の関係について

農業委員会サポートシステムは、農地台帳の管理や地域計画のベースとなる現況地図、目標地図の作成など農業委員会の業務をサポートするシステムです。

また、eMAFF地図は、農地の地図情報等を管理し、他システムに連携する基盤と

なるものであり、農地情報を公開する eMAFF 農地ナビを運用するものです。

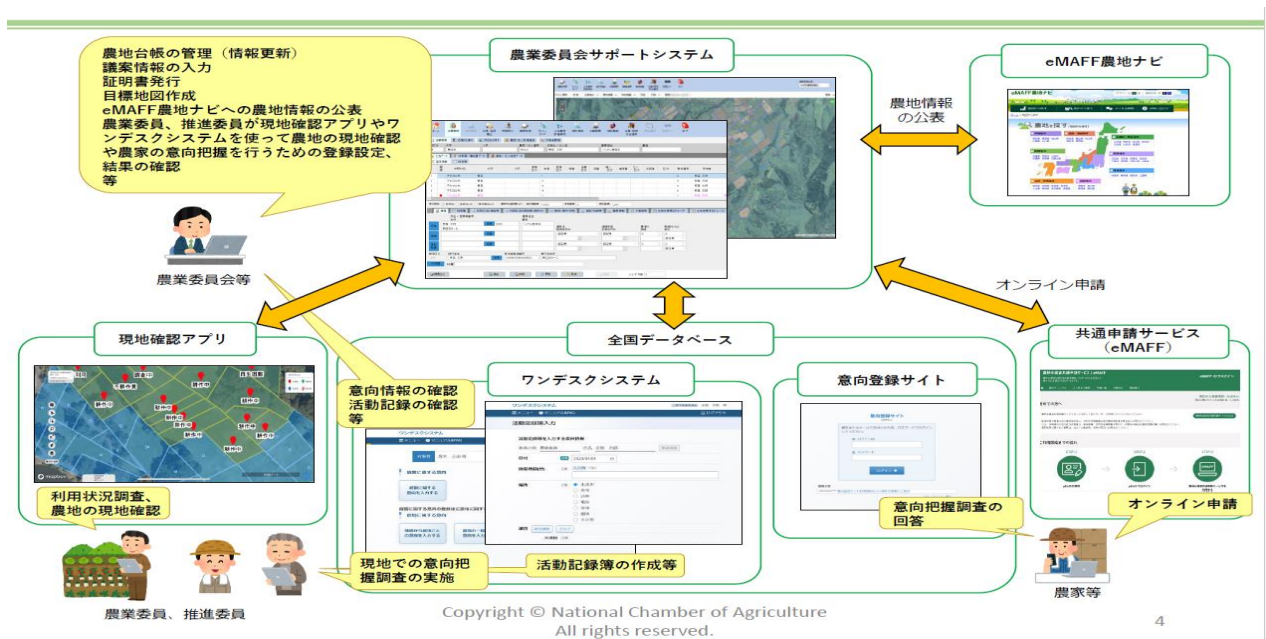
さらに、農地情報の紐付けが完了することにより、農業委員会サポートシステム、eMAFF 地図において、より正確な地図情報の使用が可能となります。

担い手への農地集積・集約化、新規就農者の促進等を図るためにも、**農業委員会サポートシステムのデータ更新・最新化が重要**です。

## ○農業委員会サポートシステムと eMAFF 地図の関係



## ○農業委員会が業務で利用する各種システムの全体像



## 6. 江北町農業委員会の取り組みについて

- ① 農業委員会の体制（任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日）  
農業委員13名、事務局3名（うち局長兼務）

② 江北町の農業の特色

佐賀県の中央に位置する江北町は北部には辨天山、大平山や御岳山があり東部は牛津川、南部は六角川が流れており、中央部は豊かな佐賀平野の恩恵を受けている田が広がっています。

町の主な農作物は、米、麦、大豆が中心で、たまねぎ、施設きゅうり、いちご、ぶどう、畜産、中山間ではみかんを中心とした柑橘等があります。



↑ 江北町の風景

③ 江北町農業委員会の取り組み

江北町では、農業委員会は各大字6地区で2名～3名で主に活動し、地区の生産者や地権者の話に耳を傾け、農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消のための活動を心掛けています。しかし、近年はコロナの影響で思うような活動ができず、できる範囲で活動を行ってきました。

令和5年度より地域計画を策定するにあたり、国のモデル地区として準備を進めています。本町では、令和5年7月からは農業委員の改選により、新農業委員を中心とした活動になっていきます。そこで、改選後も地域計画策定に向けた活動を円滑にできるよう先日、関係機関が集まり地域計画について検討会を行いました。これから農業委員会で取り組むことを精査し各農業委員と認識を共有して、地域計画策定に向けた協議をしていきたいと考えております。



↑ 地域計画協議風景

今後も、江北町農業委員会では、農業者のための農業委員会活動、江北町農業振興のための委員会活動をテーマに掲げ、活動を続けていきます。



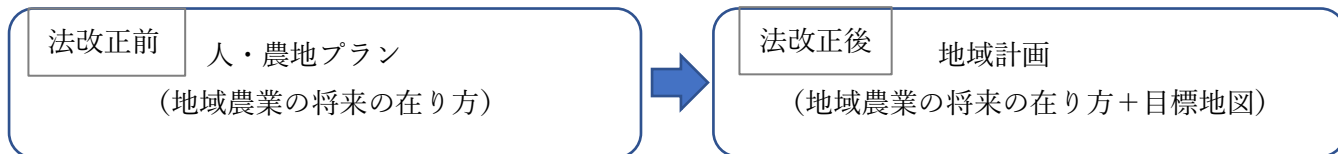
## 7. 佐賀県農業公社より情報提供

～今回は、農地中間管理事業に係る法律の改正についての紹介です～

### 《地域計画策定と農地の利用権設定の方法について》

農業経営基盤強化促進法が改正され令和5年4月1日に施行されました。

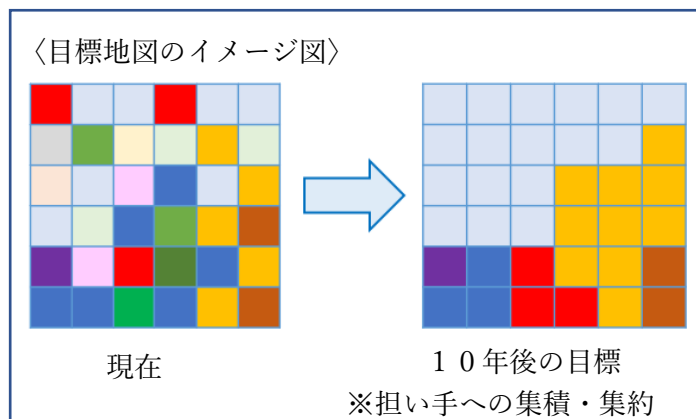
これまでの「人・農地プラン」が「地域計画」に名称を変えて、基盤法に位置づけられます。



地域計画の策定は令和7年3月31日までにを行う必要があります。

市町が地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定め、10年後に目指す農地利用を示した目標地図を作成することが求められています。

地域で守り続けてきた農地を農作業がしやすく、手間や時間、生産コストを減らすことができる農地の集約化等の実現に向け地域の関係者が一体となって話し合い、将来の方向性を決めていくことが重要です。



#### 〈農地の利用権設定の方法について〉

市町が地域計画を策定・公告した地域は、市町が定める「農用地利用集積計画」と中間管理事業が定める「農用地利用集積計画一括方式」が統合し、地域計画に即して作成される「農用地利用集積等促進計画」によって農地の賃借をするようになります。

なお、令和7年4月1日からは市町相对(農用地利用集積計画)での賃借契約ができなくなりますのでご注意ください。

	地域計画策定前	地域計画策定後
農地法での賃借	○	○
農業経営強化基盤促進法での賃借 市町相对(農用地利用集積計画)	○	×
中間管理法での賃借 (農用地利用集積計画一括方式)	○	×
中間管理法での賃借 (農用地利用集積等促進計画)	×	○



### 公益社団法人佐賀県農業公社（「農地中間管理機構」）

本所 〒849-0925 佐賀市八丁畷町8番1号 佐賀総合庁舎 4階 電話 0952-20-1590  
 鹿島駐在所 〒849-1312 鹿島市大字納富分3192 (JAさが鹿島中央支所営農経済課内) 電話 0954-69-1600  
 唐津駐在所 〒847-0002 唐津市山本788-1 (JA唐津中央営農センター敷地内) 電話 0955-58-9070

8. 農業大学校より情報提供

# 佐賀県農業大学校 2023オープンキャンパス 参加者募集

百聞は  
一見に  
如かず

開催日 令和5年 **7** 月 **2** 日(日) 6月22日(木)締切

令和5年 **8** 月 **26** 日(土) 8月10日(木)締切

場所 佐賀県農業大学校 佐賀市川副町南里 1088

対象者 令和6年度に入学を検討している高校生、社会人  
(家族同伴可)、高校生は2年生も参加可

内容 教育内容、学生寮など学校紹介  
各専攻コースの紹介、実習体験  
農業大学校在校生との交流

佐賀農大の詳しい  
情報はこちらから



さがのうだい

検索

服装 実習体験ができる服装(帽子、手袋、運動靴含む)

参加費 無料(昼食は農大食堂にて準備します)

申込方法 高校生は在籍する高校を經由して申込みください  
既卒者、社会人は直接、本校に申込みください

オープンキャンパス参加申込書 FAX 0952-34-7004 e-mail [noudai-kyoumu@pref.saga.lg.jp](mailto:noudai-kyoumu@pref.saga.lg.jp)

参加期日	7月2日(日) ・ 8月26日(土) いずれかに○印			
学校名			学年(既卒者は年齢)	
氏名		男・女	家族同伴人数	有( 人)・無
電話番号			佐賀駅からの送迎	要・不要

(お預かりした個人情報は、オープンキャンパス業務のみに使用し、他の目的に使用することはありません。)



## 9. 令和5年度農業簿記講習会のご案内

農業会議では、農家の経営改善・経営発展のため、8月に以下のとおり複式簿記の基礎を内容とした講習会を開催します。是非、お近くの認定農業者や後継者等にお声掛けください。 ☆ 7月21日(金)締切、お申込みは農業会議へ ☆

# 令和5年度 農業簿記講習会

- 対象者：農業者（次の要件を満たす方）
  - ①パソコンを持参できる方
  - ②複式農業簿記ソフトを導入済み又は導入予定の方
- 定員：20名（先着順）
- 参加費：テキスト代 1,700円
- 会場：佐賀総合庁舎 4F会議室
- 講習会カリキュラム：全5回（座学講習1回、パソコン講習4回）

複式簿記をマスターして  
農業経営力をレベルアップ！！



回	開催日	時間	内容		
1	8月3日(木)	13:15 ～ 16:15	座学	複式簿記を学ぼう	複式簿記の基本 仕訳演習等
2	8月10日(木)		パソコン 講座	パソコンで 記帳しよう	開始貸借対照表の作成
3	8月18日(金)				日常の取引の入力等
4	8月25日(金)				決算・申告
5	8月31日(木)				

- 申込方法：参加申込書をメール又はFAXで下記宛て送付ください。
- 申込期限：令和5年7月21日(金) ※定員に達し次第締切

一般社団法人佐賀県農業会議 担当:千代島

〒849-0925 佐賀市八丁畷町8-1  
TEL:0952-20-1810 FAX:0952-20-1818  
E-mail:sanoukai@sanoukai.jp

## 10. 農業者年金の加入推進について

○令和5年度新規加入状況（5月時点）

市町名	目標	加入状況	達成率
佐賀市	8	2	25%
唐津市	12	0	0%
鳥栖市	1	0	0%
多久市	1	0	0%
伊万里市	4	4	100%
武雄市	2	0	0%
鹿島市	3	1	33%
小城市	3	1	33%
嬉野市	2	0	0%
神埼市	2	0	0%

市町名	目標	加入状況	達成率
吉野ヶ里町	1	0	0%
基山町	1	0	0%
上峰町	1	0	0%
みやき町	1	2	200%
玄海町	2	0	0%
有田町	1	0	0%
大町町	1	0	0%
江北町	1	1	100%
白石町	7	3	43%
太良町	3	0	0%
計	57	14	25%

	目標	加入状況	達成率
20歳から39歳の新規加入者	36	9	25.0%
女性の新規加入者	28	5	17.9%

令和5年度農業者年金の新規加入状況は上表のとおりです。

5月時点で、すでに3市町が目標を達成しています。普段より加入推進活動ありがとうございます。

### 農業者の老後生活安定のために農業者年金を！！

#### 農業者年金の6つの特徴とメリット

- ①農業に従事する方なら広く加入できる。
- ②少子高齢化時代に強い積立方式・確定拠拠型。
- ③保険料はいつでも変更できる。
- ④終身年金。80歳前に亡くなられても死亡一時金がある。
- ⑤保険料の全額が社会保険料控除の対象で節税効果。
- ⑥一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助。

農業者年金の加入者を増やすには、まず農業者年金の制度を知ってもらうことが重要です。上の農業者年金の6つの特徴とメリットをよく理解し、それらをふまえた加入推進活動へのご協力をお願いします。

## 12. 全国農業新聞・全国農業図書の紹介

今年度目標 **1,500部**

市町	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
佐賀市	213	169	44	1
唐津市	143	96	47	34
鳥栖市	54	38	16	0
多久市	58	43	15	0
伊万里市	89	65	24	1
武雄市	93	65	28	0
鹿島市	93	69	24	0
小城市	73	47	26	32
嬉野市	75	52	23	4
神崎市	98	74	24	1

市町	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
吉野ヶ里町	44	32	12	8
基山町	28	18	10	0
上峰町	23	16	7	0
みやき町	44	29	15	0
玄海町	36	26	10	0
有田町	43	33	10	3
大町町	22	15	7	0
江北町	46	37	9	4
白石町	76	50	26	6
太良町	53	38	15	1
農業会議	96	88	8	
	<b>1,500</b>	<b>1100</b>	<b>400</b>	<b>95</b>

○全国農業新聞では、「農業簿記」や「青色申告」のオンライン講座を無料で受けられる「スタディあぐり」や、農家と農業に興味がある人のためのマッチングアプリ「あぐりマッチ」等新聞以外でのキャンペーンも実施中。

スタディあぐりについて→[https://www.nca.or.jp/contact/study\\_agri.html](https://www.nca.or.jp/contact/study_agri.html)

- ・令和5年度は、4月からの農業経営基盤強化法の改正による地域計画や目標地図作成に向けた取り組みの中で全国農業新聞を通じた情報提供活動をしていくことが特に重要になってきます。
- ・農業委員会、農政部局、地域の農業者、その他関係機関の担当者が全国農業新聞を読むことで、農政の動きや全国の農業委員会の優良活動事例を知ることができ、共通認識ができます。地位計画や目標地図作成に向けて、より効率的な活動をすることができるようになります。



- 退任される農業委員・推進委員**は継続購読を！！
- まだ購読をしていない**農業委員・推進委員**や**改選後の新任委員**は是非購読を！！
- 地域計画の策定に関わる担当者**にも、是非購読のお勧めを！！

○全国農業図書

刊行一覧こちら⇒ <https://www.nca.or.jp/tosho/>

## 2023年度 農業委員会業務必携 90号

【令和5年7月7日刊行予定】

最重要の必携図書として毎年度刊行する本書。「地域計画」策定における農業委員会の役割を特集するとともに、農地利用の最適化をはじめとする農業委員会業務の進め方を説明。研修会でご活用頂きやすいよう、内容の一層の整理・充実と使い勝手の向上を図っています。委員研修でも使いやすいように、各章冒頭にて「農業委員・推進委員の役割」を整理し、索引も設けています。農業委員活動30事例付。

【税込 1,490円】



## 農業者年金制度と加入推進 2023年度版

【令和5年度4月20日刊行】

農業者年金基金主催の研修会の教材としても活用される加入推進の公式テキストです。

加入推進の基本である「農業者年金の必要性和魅力を伝えること」に始まり、制度の概要とその特徴についてわかりやすく説明。加入推進目標に基づく加入推進活動の具体的方法や各地の取組事例も収録し、加入推進にかかわる方々にとって必携の一冊です。

今回の改訂では、今年度からはじまる第5期中期目標の達成に向けた取り組みについて具体的な手法を紹介しています。

【税込 550円】



## 3訂 農業委員・推進委員活動マニュアル

【令和5年5月31日刊行】

農業委員・推進委員が活動するために必要な情報を盛り込んだマニュアル。

農業経営基盤強化促進法等の改正に伴い、これまで取り組んできた「人・農地プラン」が「地域計画」として同法に位置付けられたことを踏まえ、内容を一新しました。

第1章では、農業委員会の基礎知識や期待される役割について、第2章では、農業委員会の業務内容について解説。

第3章では、「地域計画」の策定に向けてどのように取り組めばよいかを具体的に紹介しています。

【税込 660円】



## 12. 常設審議委員会結果（令和5年5・6月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構(佐賀県農業会議)に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議されました。

第86回、第87回の件数及び面積については、以下のとおりです。

<農地法関係処理状況>

○審議件数

第86回	5月15日	第4条	2
		第4条・第5条	1
		第5条	8
第87回	6月15日	第4条	0
		第5条	6

○田畑別件数及び面積(m<sup>2</sup>)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第86回	5月15日	第4条	1	4,215	1	9,244	2	13,459
		第4条・第5条	1	3,700	0	-	1	3,700
		第5条	8	79,250	1	327	8	79,577
第87回	6月15日	第4条	0	-	0	-	0	-
		第5条	5	42,340	3	7,420	6	49,760

## 13. 今後の行事予定

月	日	時間	場所	内容
7	18	13:30	佐賀総合庁舎	第88回常設審議委員会
8	3	13:15	佐賀総合庁舎	第1回農業簿記講習会
	8	13:30	佐賀総合庁舎	農業委員会女性協議会監査・役員会
	10	13:15	佐賀総合庁舎	第2回農業簿記講習会
	17	13:30	佐賀総合庁舎	第89回常設審議委員会
	18	13:15	佐賀総合庁舎	第3回農業簿記講習会
	21・22	10:00	グランデはがくれ	農業委員会サポートシステム及びタブレット活用に係る研修会
	24	13:30	グランデはがくれ	農業委員会女性協議会総会・研修会
	25	13:15	佐賀総合庁舎	第4回農業簿記講習会
	28	13:30	鳥栖市民文化会館	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会（東部地区）
	29	13:30	北方公民館	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会（西部地区）
	31	13:15	佐賀総合庁舎	第5回農業簿記講習会
9	12	13:30	グランデはがくれ	令和5年度農業者年金加入推進特別研修会